

蟻高生の皆さん、保護者の皆さん、夏休みの到来です。

梅雨が明けた途端、暑い日が続いています。そんな中、三者懇談会へのご来校、ありがとうございます。個別の詳細な話は担任とされていることと思いますので、ここでは全体的な話をさせていただきます。

毎年あつという間に終わってしまう夏休みですが、決して短くはありません。今年も34日間あります。ではその間に進路実現に向けてどんなことをすればよいのでしょうか。

学問について知る

教育課題、地域活性化課題に取り組む、大学教授の藤岡慎二氏によれば、**学問の違いは対象の違い**です。

人文科学=人間が蓄積してきた文字や言葉、地理、歴史、思想、心理、宗教、風俗などの知恵や文化をあらゆる角度から研究する学問。

社会科学=人間の集団で構成される組織や社会の振る舞いとその背景、ルールの作り方や活用のさせ方、影響の与え方など多様な観点から研究する学問。

自然科学=自然(人・動物・自然現象・技術など)を対象に研究を通じて様々な事象を明らかにし、人間の生活を幸福にする活用・応用方法も研究する学問。

と藤岡氏は分類しています。人文科学と社会科学が文系、自然科学が理系となりますね。さらに、これらにまたがる形で、文理融合型の「総合政策」「総合科学」「環境情報」「リベラルアーツ」などがあります。

1年生は、自分自身の学問的な興味が文系にあるのか、理系にあるのか、その二択に収まらないのかを知りましょう。夏休み明けの文理選択で残りの高校2年間の学習内容を選ぶことになります。それが、進学後の学習にもつながります。2年生は、例えば、理学と工学と工学の違い、経済学と経営学の違い、理学療法士

と作業療法士の違いを理解して自分が選択できるようにしましょう。また、特に**文理融合型の学部・学科名が大学によって異なるために、どこの大学で学べるのかが簡単に検索できません**。時間のある今こそ、そういう検索を行い、選択肢を広げておきましょう。3年生は、受験する大学などの選抜要項を読みましょう。アドミッションポリシーや試験日程など内容は膨大ですが、必ず自力で読みましょう。今しか読む時間はないですよ。

興味・関心を言語化して伝える

次に、生徒の皆さんがその興味や関心があることを、言葉にして保護者の方に伝えることです。進路実現のための一番の支援者・協力者・理解者は保護者の方です。「うちの親はいつも反対してくる」と感じている人もいるかもしれませんが、**保護者の方も、皆さんが考えていることが十分に理解できないことは不安です**。自分がしっかり考えているということを、言葉で伝え続けましょう。たった一度話して「よし、わかった。頑張れ!」とはならないでしょう。それでも、今の皆さんの状況を、とりあえず知っておいてもらいましょう。

感謝する

そうして協力してもらえる方々に感謝しましょう。これも言語化できるのがよいですね。「ありがとう」と一言でも。自分だけで何でもかんでもできているわけではないですから。

東京五輪が開幕しています。出場している選手たちは、大会が開催できたことや周囲の方々の協力に対して、必ず感謝の言葉を口にしています。大会の開催については賛否両論がありますが、幾多の困難を乗り越えてきた選手のメンタリティから学ぶことは非常に多いと思います。